30年6月　NMC月例会の報告

講演テーマ；　習近平の中国と国際情勢　−朝鮮半島問題を中心に

講演中の天児先生

開催日；　6月22日（金）18：30〜20：15

講　師；　天児　慧　早稲田大学名誉教授

専門は現代中国論、アジア国際関係論。

会場等；　阿佐ヶ谷地域区民センター第２集会室 19名参加

内　容；

講師のご判断で、昨今の北東アジアの情勢、特に朝鮮半島問題に主眼を置いて講演がなされた。先ず中国の出方は如何であったか、その基本となる外交行動は、国益を優先しながらも、「型」を重視する外交で、何より「メンツ」を重んじてきた。それゆえ、ややもすれば朝鮮半島の変化には乗り遅れた感があった。平昌オリンピック以来の南北対話の余りにも急速な進展があったが、中国は全く重要視しない態度であった。４月27日の南北首脳会談の様子は世界中に配信され、6月12日のトランプ・金正恩会談の経緯と動向もメデイア等で紹介されており既知のとおり。これからの朝鮮半島問題については、米朝会談等の動向を見守っていくことになるが、「南北コリア」の統一については、文大統領のロシア訪問及び貿易の活発化を含めて、その役割に注視する必要がある。

現状における理解に加え、講演を通して不確実な北東アジア情勢への興味と意識が一段と向上し、有意義な例会になったと感じた。　　　　　　　　（文責/写真；小川啓介、宮崎知子）

受講風景

左列より　高橋、柚木、宮崎(写真担当)、廣瀬、入船、來間、福島(洋)、森、小川(俊)、高田
右列より　小川(啓)、小池、小林、吉田、正野、内田、神田、細越、石村　　(敬称略)

▲講師紹介

▲質疑応答